

和歌山県日高郡由良町衣奈方言の副助詞

仲 慎一郎

I はじめに

- ①調査対象地： 和歌山県日高郡由良町は和歌山県の中部、有田郡との郡境に接し、日高郡の最北端に位置している。町域は、一方は海で他の三方を山で囲まれているため、ほとんどは山地であって、その山並みは険しく、海岸線までせまっている。村内英一氏の「和歌山県の方言」（『講座方言学7—近畿地方の方言—』国書刊行会 昭和57年）の方言区画によると、由良町は和歌山方言の中で紀中方言、特に紀中平地方言とされ、有田市や御坊市、南部町などと同じ区画に属している。衣奈は、和歌山市から南方に約50km、由良町中心部から約5kmほど北上したあたりにひろがる。交通は、車で和歌山市から国道42号線で約1時間半ほど、鉄道でJR紀勢線で約1時間ほどである。産業は半農半漁で戸数約250戸、人口約900人の集落である。
- ②調査年月日： 1997年3月31日 午後2時～午後4時
- ③話者： 洲崎 その 氏（女性 昭和4年生まれ 68歳）
- ④調査者・調査場所： 仲 慎一郎、話者宅
- ⑤調査方法： 統一調査票による質問調査
- ⑥その他： (a)アクセントは、高音部を棒引きで表記する。
(b)語の説明は※の後に示す。

II 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A、添加

- 1、 雨だけでなく風さえ吹いてきた。 ○アヌー フッテンノニ カゼモ フイテ
キタ。
- 2、 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ○ゴトシワ マー、コメモ 赤ー
ネンヤッテ ムギモ マシヤッタ フー。

B、予想外の事実

- 3、 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○チッチャイ ショーガッコーフ
コーデモ ワープロラ ツ方ウンヤ モン。
- 4、 (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ○アタルト オモワナ
ンダテドモ アタッテ ヨー。

C、条件

- 5、 暇さえあれば釣りに行っている。 ○マーサエ アリヤー ツリ イタリバーッ
方 シテジネン。

D、例示

- 6、 まあお茶でも飲んでください。 ○マー オチャナイト ノンデ ヨー。
- 7、 みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。 ①ミヤゲニ マンジューナイト ドーヤロ ニブ。／②ミヤゲニ マンジューデモ ドーヤロ ニブ。
- 8、 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○トビアルクホト ウレシカッタ ヨ。
- 9、 まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ①マッサラ オマイラニ ヨートラ ヨメニモ オモテテカッタ。／②マランダラ オマイラニ ヨートラ ヨメニモ オモテテカッタ。
- 10、 なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○チグッタリ テッタリ シテ モテゴータ。
- 11、 私になり相談してくれれば良かったのに。 ○ワシニナイト ヨーデ クレタラヨカッタアニ。
- 12、 野菜なんていくらでもできる。 ○ヤサイラミタイナ モノワ イックラデモテキラ。

一対の語の例示

- 13、 しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ○シヨウユモ ミソモ ウチデキヤ。 ※「ウチデキ」は「自家製」の意。

択一

- 14、 私なり弟なりがお手伝いにいきます。 ○ワタシカ オトートカガ テッタイニイカ ヨー。

例外でない

- 15、 村長とて、そうするより仕方なかったんだろう。 ○ソンチョサンデモ ワンセナ シャーチカタンヤロ カイ。

列举

- 16、 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ヌクナッテ 手タンデ サクラモウメモ イッペニ サイテキタ アー。

同類の暗示

- 17、 テレビもそろそろ買い替えよう。 ①テレビモ モー ミヌク チッテ 手タンデ エエン カオ カ。／②テレビモ モー ミヌク チッテ 手タンデ エエント カイチオソ カ。

やわらげ

- 18、 まあお茶でも飲んでください。 ①マー オチャナイト ノンデ ヨー。／②マー オチャデモ ノマン カイ。

E、包括

- 19、 盆には子や孫などが帰ってくる。 ①ボンニワ ヨーラ マゴラ クルサカイ。

／②ボンニワ コーラ マゴラ クンネラ ヨ。

F、提題

20、 ゲートボールだってできるよ。 ○ゲートボールデモ デキライデカ。

話題にあげる

21、 何だい、いいことって。 ○ナンド エエコトデモ アツダン カイ。

極端なものの提示

22、 そんなこと子供にでもできるよ。 ○ボンチ コト コドモデモ デキライデカ。

23、 食べることくらいは何とかしたい。 ○タベル コトダライ ジブンデ モーナ。

24、 名前すらろくに覚えていない。 ○チマエモ ロクスツポ オボエテナイ。

25、 弁当代に千円もかかった。 ○ベントダイニ センエンモ イッテ ヨー。

軽いものをあげる

26、 これさえあればもう大丈夫だ。 ○コイダケ アツタラ モニ ダイジヨープヤ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G、分量・程度

27、 旅行で三日ほど家をあけた。 ○リョコエ ミツカホド イテキテ ヨー。

28、 茶碗に半分くらいください。 ①オチャワンニ ハンブンホド ヨハン イレテ
ヨー。／②オチャワンニ ハンブンホドデ エエデー。

29、 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。 ①コドモニデモ ワカルホドフ ヤ
サシー ボンヤ。／②コドモニデモ ワカライデ カ。コンナ ヤサシー ボ
ン。

30、 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ○イッシューカンホド ルスニ スルサ
カイ タアソド カー。

H、基準

31、 今年の寒さは去年ほどではない。 ①コトシワ キヨネンミタイナ コト チカ
ツタンデ ヌクカッタ アー。／②コトシヤ マー キヨネンヨリ ヌクカッ
テ ヨカッタ アー。

I、理由

32、 ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ①チヨット キー コ
ルイタンデ エライ コト シタ ヨー。／②チヨット コダンシタ パツガ
イニ エライ コト シタ ヨー。

J、「それにふさわしく」

33、 苦労しただけあって人間ができています。 ○クローシタサカイニ ニンゲンガ
ヨー デキテル。

形式名詞的用法

34、 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○マイニチ マゴア モリヤ ナシヤカシヤ

デ マー ナイザカイ ヱー。

「それこそ」

- 35、 それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○ソイゴソ オテカラ ア
ケルヨーナ カイナ アヌヤ。

※「カイナ」は「すごい」の意。

「～ばかりか」

- 36、 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ①オヤッサンモ オカサンモ スポーツズキ
デ ナー。 / ②オ下サンモ オカサンモ スポーツズキデ ナー。

K、今にも行われる

- 37、 もう食べるばかりにしてある。 ○モー タベルヨニ シテルザカイ ヱー。

動作の完了直後

- 38、 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマ シゴ下カラ キタ トコ ヱー。

基準

- 39、 駅までもうちょっとだ。 ○エキマデ マー チットヤケド ナー。

L、等量の反復

- 40、 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリズツ キデモテ バナシシタ。

M、等量の配分

- 41、 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒ下リニ フタツズツ ヤッタン ヱー。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N、限定

- 42、 酒はたまにしか飲まない。 ○サケワ ヌッタニ ノヌヘンノ ヱー。

- 43、 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ○キョーワ モー ネスゴイテ パン
ダケ タベテ キタ。

- 44、 そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソナナニ ベンキョー パツガ
イ シテタラ カラダニ エエ コト ナイデ。

- 45、 うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 ○モー アガエア ター
ガ ノコッテルダケデ ヱソワ モー オワッテジモタ。

※「アガエ」は「自分の家」の意。

O、強調

- 46、 もうこれだけしかないよ。 ○モー コイダケシカ ナイ。

- 47、 今年こそいい年にしたい。 ○コトシゴソ エエ 下シデ アッテ ホシイ ナー。

P、限界

- 48、 これだけ言っても分からないのか。 ○コンナニ ヱーテモ マダ ワカラン
ワ。

- 49、 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエンダライヤツタラ ドーデモ

ナラ ヱー。

(4) 陳述的なもの

Q、「～ば～だけ」

50、肥料をやればやるだけよく育つ。○コエ ヤッタラ ヤルダゲ ヱー テキル。

「假定形・ば・こそ」

51、心配すればこそ言うんだ。○シンバイスリヤコソ ヱーテ ヤルンヤ。

「こそ・假定形」

52、彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。○モソクバツガイ ヱーテ
ヒトフ ヱー コト キカン。

53、「～でこそあれ《コサレなども》」という言い方はありますか。○言わない

「未然形・ば・こそ」

54、押しても引いても動かばこそ。○オイトモ ヒイトモ イゴカン。

「～こそ。」

55、失礼なことを言わないでこそ。○オカシダナ コト コラジトイト。

「～こそ～が」

56、今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。○イマコソ アガヤデ イ
テルゲドモ ムカシワ ヱー シアルイタ。

「～ば～ほど」

57、働けば働くほどもうかる。○イゴキヤ イゴクホド モーカル。

※「イゴク」は【働く】の意。

R、打ち消しとの呼応

58、村長に聞くまでもないことだ。○ソンチョーニ キクホドフ コトデモ ナイ
ンヤケド。

否定との呼応

59、朝から忙しくて昼飯も食えない。○アサガラ ハシリアルイタンデ ヒルモ
マダ タベテナイ。

否定的取り上げ

60、こんなものなどいくらでもあるよ。○コンチ モンラ イクラデモ アル。

全面否定

61、誰だってそんなことを言われたら怒るよ。○ダイデモ ソンチ コト ヱータ
ラ ハラ タタイデ ヱ。

S、次の動作が不可能

62、10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。○ジューネンマエニ ア
ガエー デタナリ イッペンモ モドッテキテナイ。

(5) モダリティー的なもの

T、不確かな気持ち

- 63、 いつのまにやら眠ってしまった。 ①イツノマーニカ ネテジモチャッタ。/
②イツノマーニカ ネチャッタ。/③イツノマーニカ ネムッチャッタ。/
④イツノマーニカ ネテジモタ ヱー。
- 64、 何のことか分からない。 ①ナンノコトカ ザッパリ ワカラン。/②チンノコ
トヤラ ザッパリ ワカラン。

推定

- 65、 後で遊びに行くかもしれない。 ○アトデ アソビニ イクカモ ワカラン。
どちらか分からない。
- 66、 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ○クルカ コソカ ハッキリ ワカ
ラン。

はっきり言わない

- 67、 どこやらへ引っ越したそうだ。 ①ドコロエ イタンヤ下ー。/②ドコロエ イ
タ下イ。

U、非難

- 68、 お父さんたら今日も遅いのね。 ○オ下ーサンチユータラ キョーモ オソイン
ヤ下ー。
- 69、 お父さんてば、子供のようなことを言って。 ○オ下ーサン ヱー。 コドモミ
タイナ コト ヱーテ。

Ⅲ、総括（まとめ）

- (1)当該方言に際立って特徴的なものはみられなかった。ここで特徴的なものとしては、
[例示・やわらげ]においてみられた「ナイト」、[例示・包括・否定的取り上げ]
においてみられた「ラ」、[次の動作が可能]においてみられた「ナリ」などが挙げ
られる。以下に文例を示す。また、「ラ」は複数をあらわす他に否定的な意味を含む
場合があると考えられる。

- マー オチャナイト ノンデ ヱー。
○ミヤダニ マンジューナイト 下ーヤロ ニフ。
○ワシニナイト ヱーテ クレタラ ヱカッタフニ。
○ヤサイラミタイナ モノワ イックラデモ デキラ。
○ボンニワ コーラ マゴラ クルサカイ。
○ゴンチ モンラ イクラデモ アル。
○ジューネンマエニ アガエー デタチリ イッペンモ モドッテキテナイ。

- (2)調査語に相当するような副助詞を用いて表現するのではなく、例えば、「チュータラ」
や「トコ」など、他の形体によって表現することも多いように思われる。

○イマ シゴトワラ 手タ トコ ヨー。

○オトーサンチユータラ キョーモ オソインヤトー。

(3)参考に助詞のあらわれの一例として談話資料をあげておく。調査の途中で話者に衣奈方言について話していただいた場面である。

<p>ワダシラ モー エナデ ウマレテ エチア ムキダ シヤサカイ アノー オーサカヤラ オーサカホーメ ンラ イテモ オーサカベンラ ヨー ツカワンシ ヨ ー。</p>	<p>私はもう衣奈で生まれて衣奈のむきだしだから、あ の、大阪とか大阪方面とか行っても大阪弁なんて使え ないしね。</p>
<p>マ ソリヤ ヒョージュンゴグライワ ツカウケド ヨ ー。</p>	<p>ま、そりや、標準語くらいは使うけどね。</p>
<p>ヤッパリ ヒガネア コトバ テテクラー。</p>	<p>やっぱり日頃の言葉が出てくるよ。</p>
<p>赤ヤカラ イッペンニ ユワレラ。</p>	<p>だからすぐに言われるよ。</p>
<p>「アンタ ワカヤマヤ アー。」ッテ コワ。</p>	<p>「あなた和歌山だね。」って言うよ。</p>
<p>「ワカヤマノ コトバヤ アー。」チユーケド ワカヤ マノ コトバデモ ダンダンヤモン アー。</p>	<p>「和歌山の言葉だね。」と言うけど、和歌山の言葉で も色々だもんねえ。</p>
<p>ワカヤマシノ コトバト マタ ココラヘン アリダノ コトバト ヒダカノ コトバト。</p>	<p>和歌山市の言葉と、またこのあたり、有田の言葉と日 真の言葉と。</p>
<p>アー。</p>	<p>ねえ。</p>
<p>マタ エチア ホーノ コト ヒダカノ ホー イタラ アー。</p>	<p>また衣奈の方のこと、日真の方に行ったらねえ。</p>
<p>「下ニ サンセ。コニ サンセ。」ッテ コワラ ヨ。</p>	<p>「どうしなさい。こうしなさい。」って言うよ。</p>
<p>アー。</p>	<p>ねえ。</p>
<p>「ユワンセ ヨー。」ッテ コオー。</p>	<p>「言いなさいよ。」って言うだろう。</p>
<p>ジブンラヤッタラ 「ユワラ ヨー。」ッテ コー コ ニケド チ。</p>	<p>私たちがど、「言うだろう。」って言うけどね。</p>

なお、調査にあたっては、大阪教育大学四回生で衣奈集落出身の大井愛子さんのご協力を得た。

(なか しんいちろう 大阪教育大学大学院在学中)